

Index

- 2023 年度 第 1 回日帰り見学会 開催報告
- 水素インフラ研究会 講演会 開催報告
- 2023 年度地熱発電・熱水活用研究会
追加講演会 開催報告
- 会員の皆様へのお知らせ
□ 新任挨拶
- 「エンジニアリングシンポジウム 2023」開
催のお知らせ

■ 2023 年度 第 1 回日帰り見学会 開催報告 ■

「大谷石採掘場跡」「大谷地下研究所展示室」「大谷採取場跡地観測所」

2023 年度第 1 回目の日帰り見学会を 2023 年 8 月 4 日（金）に開催しました。見学場所は、「大谷石採掘場跡（大谷資料館）」、「大谷地下資源研究所展示室（川崎地質株）」、「大谷石採取場跡地観測所（公益財団法人 大谷地域整備公社）」の 3 カ所、参加者は総勢 21 名でした。

大谷石採掘場跡（大谷資料館）は、大谷石の採掘によって形成された広大な地下空間で、面積は 2 万 m² に及びます。見学当日の宇都宮市は最高気温 35℃ を超える猛暑日でしたが、採掘場跡地の坑内温度は約 12℃ という環境で、参加者は上着を着用し心地よい涼しさを感じながら見学しました。

ここでは、大谷石採石場跡の空洞の安定性などを研究されている宇都宮大学 清木隆文准教授も参加くださり、解説をいただきながら、地下軍事工場や美術品の展示、倉庫、コンサートや演劇に使われるホールなど、地下空間に付加価値を与える好事例を見学することができました。また、壁に残る鮮明な切り出しの跡は、採掘当時の様子を生々しく思い起こさせました。

大谷地下資源研究室展示室は、川崎地質株がこれまでに行ってきた貴重なボーリング調査資料を収集、整理して展示している施設です。この施設は 8 月 1 日に開館し、今回の見学会が初めての団体見学とのことでした。ボーリングコアやその他にも工夫を凝らした展示物が展示され、大谷地域の地質環境特性についての説明を伺い、理解を深めることができました。また、採掘空洞に溜まった空洞水の冷熱利用など、最新の取組みについてもご説明いただきました。

大谷石採取場跡地観測所は、1989 年に発生した地盤陥没事故を受けて構築された「大谷石採取場跡地観測システム」の中心施設です。地域の安全安心のため、地下の変動などを常時観測・監視し、データを収集・分析しています。川崎地質株に、観測システムの概要、大谷地域の現状や、



大谷資料館前での集合写真



大谷地下資源研究所展示室

観測される振動波形の解説など、実際の観測データに基づいて詳細に説明していただきました。また質疑応答にも丁寧に対応していただき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

最後に見学会に際しご協力いただきました、国立大学法人宇都宮大学 清木准教授、川崎地質(株) 野口静雄様、大村猛様、ご関係の皆様はこの場をお借り心から御礼申し上げます。

■ 水素インフラ研究会 講演会 開催報告 ■ ～ 高圧ガス保安協会水素センター所長 小山田賢治様～

7月31日(月)、水素インフラ研究会(委員長:酒井佳人様大成建設(株))は、小山田賢治様(特別民間法人高圧ガス保安協会(以下、KHK)水素センター 所長)をお招きし「水素社会の実現に向けた日本及びKHKの取組みについて」と題し、当協会にてご講演いただきました。講演は、KHKおよびKHKの主な業務についてご紹介いただいた後、

1. 日本の取組みについて 水素関係、CCS 関係
2. KHKの取組みについて

の項目に従い、水素基本戦略、水素産業戦略、水素保安戦略など国の水素分野における戦略の策定や改定に係る最新情報、CCS実証から長期ロードマップに従ったCCS事業化への展開の最新の動き、また、水素社会の実現におけるKHKの位置づけや役割および取り組み内容について、大変貴重なお話をいただきました。技術的な面から水素インフラに関わることの多い研究会のメンバーにとって、保安、規制といった観点からのお話は新鮮で刺激になりました。また、講演後には質疑応答に十分なお時間をいただき、活発な意見交換ができました。小山田様には、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。



小山田賢治様

■ 2023年度地熱発電・熱水活用研究会 追加講演会 開催報告 ■

8月25日(金)、地熱発電・熱水活用研究会(委員長:海江田秀志様 鹿島建設(株))は、ブルース・マウンテン博士(ニュージーランド国立地球科学研究機構(以下GNSサイエンス)熱水系および鉱物鉱床チーム 上級地熱地球化学者)、今村吉文様(GNSサイエンス ジャパン・カンントリーマネージャー)をお招きし、“Experimental geochemistry at GNS: Leading innovation in the management of geothermal resources for a low carbon future”

「GNSにおける実験地球化学:低炭素の未来のための地熱資源管理の革新をリードする」と題して追加講演会を開催しました。本追加講演会は鹿島建設(株)に会場をご提供いただき、参加者は会場で15名、オンラインで約30名でした。



ブルース・マウンテン博士と今村様

講演は、ブルース・マウンテン博士による英語のご講演を今村様に通訳していただきました。GNS サイエンスの実験地球化学研究室は、熱水地球化学に関連する実験研究の実施に焦点を当てた専門施設です。実験地球化学とは実験室の制御された条件下での岩石-鉱物-流体の相互作用についての研究で、自然界のプロセスは直接観察することはできませんが、実験室規模ではこれらの条件を小規模に再現できます。これらの装置を用いて行った実験をご紹介します。

■ 会員の皆様へお知らせ ■

□ 新任挨拶

下山 みを (しもやま みを)

(地下開発利用研究センター 技術開発部 主任研究員)

この度、8月1日付で応用地質(株)より地下開発利用研究センター(GEC)に着任いたしました下山と申します。



出向元の応用地質では、主に物理探査を用いた各種地盤調査に携わり、ここ10年ほどは二酸化炭素地中貯留(CCS)事業に関連した各種調査・モニタリングや、地熱開発に関連した各種調査のほか、新規事業の企画・開発に携わってきました。

GECでは計測技術研究会、地下情報化部会、地下利用推進部会(第1部会、第2部会)、GECニュースの発行等を担当いたします。微力ではございますがGECの事業推進に役に立てるよう努力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

■ 「エンジニアリングシンポジウム 2023」開催のお知らせ ■ 変革の時代～エンジニアリングが未来を照らす

エンジニアリングシンポジウム 2023 を下記のとおり開催いたします。

- 開催日：10月20日(金)
- 会場：日本教育会館一ツ橋ホール(右図参照)
(会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催)
- 主催：一般財団法人エンジニアリング協会
- 講演：経済産業省

◆ シンポジウムの詳細：

シンポジウムのプログラムほか詳しいご案内およびお申し込み方法は、次頁および当協会WEBサイトをご覧ください。

◆ 参加費(消費税込み)

会場参加(交流会費含む) 9,900円 オンライン参加(交流会なし) 7,700円

◆ お問い合わせ先：エンジニアリングシンポジウム事務局

TEL：03-6441-2910(代表) E-mail：sympo-admin@enaa.or.jp

<https://www.enaa.or.jp>



ENAA 一般財団法人エンジニアリング協会

エンジニアリングシンポジウム 2023

変革の時代 ～エンジニアリングが未来を照らす

エンジニアリング 功労者表彰 プロジェクト	10:30	ラオス ナムニアップ1水力発電所建設プロジェクトの紹介	
	11:05	株式会社大林組 札幌支店 土木工事事務 部長	木村 隆之
	11:10	新阿蘇大橋工事（渡河部）プロジェクト ～熊本地震からの早期復旧に向けた取組み～	
	11:45	大成建設株式会社 土木本部 土木設計部 橋梁設計室 課長	長尾 賢二

12:50 協会挨拶 石倭 行人 (一般財団法人エンジニアリング協会 理事長)

講演Ⅰ

デジタルの力で未来を拓く
～テクノロジーがもたらす社会の変革～

13:00～14:15

富士通株式会社
シニアエバンジェリスト

武田 幸治



講演Ⅱ

アフリカにおけるリープフロッグ型発展と
デジタル・インフォーマル経済の進展

14:30～15:45

立命館大学大学院 先端総合学術研究科
教授

小川 さやか



講演Ⅲ

製造現場での産業用ロボットの活用と
スマートファクトリの実現に向けて

16:00～17:15

ファナック株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

山口 賢治



17:30～19:00

交流会

同会館9階「喜山倶楽部」

2023.10.20 FRI

会場

日本教育会館 一ツ橋ホール
(会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催)

主催：一般財団法人エンジニアリング協会 / 後援：経済産業省

来場者限定・会場後方ホワイエにて同時開催
2023年度 功労者表彰 受賞案件 パネル展示

同時中継
オンライン配信

PDU / CPU
ポイント取得可能

学生限定
無料ご招待
(交流会は除く)